

● 5月13日（木）  
● 総務文教常任委員会  
● 調査件名  
● 広野駅東側開発について  
● J F Aアカデミー福島への  
● 取り組みについて

# 報告

## を報告します

総務文教  
**広野駅東側開発**  
医薬品開発の今後は

第1期整備については、JR東日本が駅構内の跨線橋へのエレベーター設置工事を発注したとの報告がありました。

産業団地については、今後も企業や学術研究機関の誘致を積極的に進めていくとのことでした。

また、医薬品開発に係る連携協力において研究対象となるアルパカの飼育を（株）広野町振興公社により、二ツ沼総合公園で行うことなどについて説明がありました。

アルパカの飼育には予防接種や検診などを行うために獣医師との契約も必要になってくるとの回答で、委員からは飼育にかかる費用は適正に積算を行うよう要望しました。

第2期整備における子育て世代向けの住宅地開発について、令和3年度中の完成、令和

4年度春の販売開始を目指すとして整備を進めているとのことでした。

また、「広野駅東ニュータウン住宅用地取得支援事業補助金交付要綱(案)」が示され、震災以前に広野町に居住していた方も交付の対象となるとのことでした。

委員から、人により様々な事情があり、それに対応するために町長が個別に判断をできるようにする条文を整理すること、補助金の返還額については町税の還元なども計算して検討することを要望しました。

総務文教  
**J F Aアカデミー福島**  
生徒たちの様子は

4月5日に広野中学校入学式、4月6日に入校式を迎えたJ F Aアカデミー福島の生徒19人は、ゴールデンウィークに一旦帰省したが、体調不良やホームシックなどにならずに過ごしているとのことでした。

また、学校とアカデミーで交通安全教室を行い、今後は双葉警察署による交通安全立哨や、教職員に対しての交通安全教室などを実施する予定になっているとの回答でした。

委員より、町民にも子どもたちを見守ってもらえるような声をかけようとの提案がありました。



トレーニングに励むアカデミー生

# 委員会

## 各常任委員会の活動状況

● 5月14日（金）  
● 産業厚生常任委員会  
● 調査件名  
● 農林業の振興について

産業厚生  
**農林業の振興**  
農地集積への取り組みは

人農地プラン実質化の推進、法定化された際の対応および農地集積率の向上を目指すための取り組みについては、浜通り・相双管内の目標達成率が約77%となっていることから、法定化された際にも町が地域の営農者と積極的に協議しながら推進していくとの説明でした。

農林水産省が農業の環境負荷軽減と生産基盤強化を目的として正式に決定した「みどりの食糧システム戦略」については、これまで取り組んできた環境保全型農業直接支払交付金事業を継続して取り組むとともに、付加価値のある特別栽培米や有機栽培米を促進していきたいとの説明でした。

新規就農者支援を目的とした農業次世代人材投資事業については、町が県の認定機関として就農を希望する方に

研修先を斡旋する制度であり、町に費用負担はなく、現在フロンティアひろので行っている研修内容は、水稲栽培の一連の作業を2年間通して行うもので、水稲の作業がない時期には野菜作りなどを併せて学ぶ内容になっているとの説明でした。

農産物加工施設の活用については、貸し出した実績はなく、今後は施設を利用していただけるような広報活動を実施しながら、町の農業振興に寄与するような取り組みを行う事業者への貸し出しについても検討していくとの説明でした。

委員から、税の還流を図るために県の圃場整備事業で使われている建設機械の燃料を町内事業者で補給してもらえようとする要望すること、作付けされていない田んぼの状況を要望しました。



苗が伸びてきた水田